

こんにちは！ 保健婦です

健診は生活習慣の軌道修正

健康診断は、成人病の早期発見など、からだの異常の有無を発見するほかに、検査結果に応じて生活習慣を軌道修正するよい機会でもあります。

検査結果に一喜一憂するのはなく、その後の健康推進のために、あるいは症状の悪化を防ぐために、自分にあつた生活法を知ることが大切です。

〔検査結果に使われる用語〕

異常なし：検査の結果、現在はとくに病的な所見が認められない。ただし、油断は禁物。

要精検：正常とは言いきれず、異常の状況が明確にならないので、さらに詳しい検査を必要とする。

要観察：現在の状態の経過をみる必要がある。病院にすぐ行くというのではなく、年に一回は同じ内容の検査をし、その数値に注意しておく。

要指導：今は病院に行く必要はないが、日常生活に注意しないと病気になる。年一回は必ず検査を受ける。

要医療：検査所見に異常があつたので治療を必要とする。

以上のことから、要観察・要指導の人が病院へ行かれても薬もでないというのは当り前と言えるでしょう。

胃がん検診にしても同様です。要精検とは、今回の検査で異常なしと明確に判定できないので、さらに詳しく検査をする必要とするものです。胃がんの早期である異型細胞を見つけることが第一の目的ですが、第二は、かいようやポリープの発見です。精密検査から治療になる場合と、異常なしとに分けられます。精密検査まで受けて「異常なし」だったら大安心ですね。

健診は自分のために受けるものです！

町の健診を希望された方は、正しい検査結果が出るよう注意事項をよく守って会場へおいでください。

* 健康フローチャート *

